

香川県 多度津町議会

(事績1) 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

1 常任委員会・議会運営委員会・特別委員会による、所管事務・付託された事件調査のための視察研修

常任委員会においては毎年、議会運営委員会と特別委員会は隔年で交互に、所管事務・付託された事件の中からテーマを決めて、調査・研究のため、3日ほどの行程で視察研修を行っている。

2 一般質問の一問一答方式導入

平成27年9月議会から一般質問に、質問者1人あたり質問時間、回答時間を含め、持ち時間45分とする一問一答方式を導入した。それに併せて、議場に質問席を設け、対面式に改修した。また令和2年6月議会から、質問者1人あたりの持ち時間を60分に延長し実施している。

一般質問の一問一答方式導入により、簡潔明確な質問の結果、正確な答弁が引き出され、議論が深まり、傍聴者にも分かり易い議会を実現している。

(事績2) 住民に開かれた議会

1 議会会議録のホームページ掲載

平成25年12月議会の会議録から、議会のホームページに掲載している。

2 議会広報誌の発行

平成28年9月より議会だよりを創刊。以来年4回、議会広報編集委員会で編集、発行している。一般質問した議員は、自分のした質問と答弁を要約した原稿を編集委員会に提出している。編集委員会では、議会の掲載原稿の作成・構成・レイアウト、写真の選定・提供などに携わっており、住民に分かりやすく伝えるよう努めている。

また、香川県広報発行町議会連絡協議会の主催する研修会への参加などを通して、広報紙のレイアウト・手法などを研究し、積極的に改善を重ねている。

3 定例会での委員会活動報告

閉会中の委員会の所管事務調査についても、本会議において委員長から質疑や意見の内容等を含めて報告している。

(事績3) 地方議会・地域活性化のために特別な取組みをした議会

1 平成30年度からタブレット端末を使用したペーパーレス会議システムを導入している。議会運営委員会での先進地視察、議会活性化プロジェクトチームでの検討、議員全員での勉強会などを経て、本議会、委員会において活用しており、従来の議案参考資料や委員会資料等の印刷物の配布を無くし、ペーパーレス化を図っている。